

3月4日（水）

全校熟議～チャレンジ目標について～

自分たちの学校を自分たちの手でよりよくしていく力を育てるため、今年、初の試みとして縦割り班による全校熟議を行いました。

「誰かが考えてくれるのを待つのではなく、自分の意見を持ち、互いの思いに耳を傾けながら合意形成していくことの大切さを実感してほしい」という願いを込めて企画したものです。保護者や地域の方にも子どもたちの取組をぜひ見て、助言等をしていただきたいと思いますと思い、くすのきボランティア感謝の会のすぐ後に実施しました。

当日は、5年生の運営委員会が中心となり、6年生のサポートを受けながら、新リーダー



たちがてきぱきと会を進行しました。短い時間の中でも、どの班も真剣に話し合いを進める姿が見られました。

特に、低学年の発言を丁寧に待ったり、言いたいことを優しくくみ取ったりする上学年の姿や、全校児童の前で堂々と挙手をして発言する姿が印象的でした。みんなの思いを大切にしながら話し合い、自分の意見が反映される喜びを感じている様子も伝わってきて、たいへん実りの多い取組となりました。今回の経験を、来年度のさらに大きな実行力へとつなげてほしいと思います。





